



# しばた議会だより



(東北こども博：仙台大学)

## どんなおうちになるのかな

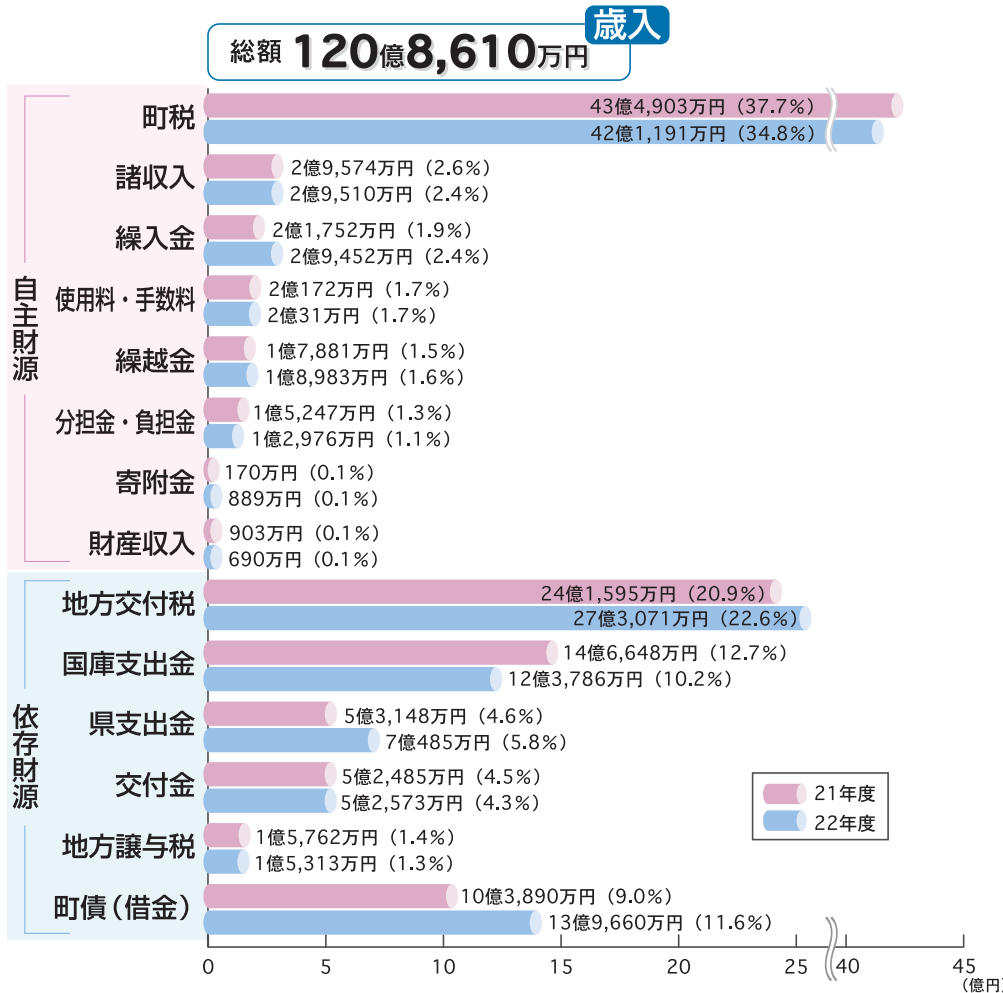
■9月定例議会	・平成22年度決算を認定	.....	2~3
	・決算審査特別委員会	.....	4~6
■議会の出欠状況	・議案等審議結果	.....	7
■一般質問 (13人)		.....	8~14
■常任委員会レポート		.....	15
■あなたの一言 (渡辺誠司さん)		.....	16



# れた予算の中でも事業に着手

観光振興に1億4,000万円など

117億円



平成23年9月議会は、9月5日から15日までの会期で開催されました。平成22年度の一般会計及び各種特別会計、水道事業会計の決算では2人の総括質疑を行った後、決算審査特別委員会を設置し、詳細に審査した結果、すべての会計を原案どおり認定しました。

このほか、条例3件、補正予算6件、人事案件1件など（7ページ参照）を原案のとおり可決・同意しました。

一般質問は、9月5日から7日までの3日間で行われ、13人の議員が質問し、質問項目数は24件でした。

## 柴田町の財政は

健全化判断指数

町長から報告された健全化判断比率を紹介します。

### ●実質公債費比率

21年度 14.7%  
22年度 14.1%

※数値が大きいほど固定経費、借金の支払いが大きく、財政運営が大変な状況を示します。

### ●将来負担比率

21年度 83.4%  
22年度 84.3%

※数値が少ないほど将来の負担（借金の支払いなどが減っていく）が少なくなります。

町税収入が減ったことで国からの地方交付税は、前年度比3億1千万円の増額となりました。

今後、町税などの自主財源が減り、地方交付税など国から交付される依存財源の依存度が大きくなるのが予想されます。町の予算編成のたびに

町税収入が減ったことで国からの地方交付税は、前年度比3億1千万円の増額となりました。

今後、町税などの自主財源が減り、地方交付税など国から交付される依存財源の依存度が大きくなるのが予想されます。町の予算編成のたびに

## 町税収入8.2%減 今後の課題は

「国の動向」に左右されず、町民の声にこたえる独自の努力が必要です。

### 平成22年度 各種会計決算額

会計区分	歳入	歳出	
一般会計 ①	120億8,610万円	117億2,061万円	
特別会計	国民健康保険	39億9,645万円	38億2,385万円
	老人保健	431万円	431万円
	公共下水道事業	15億3,209万円	14億8,387万円
	介護保険	19億9,321万円	19億7,576万円
	後期高齢者医療	2億7,908万円	2億7,371万円
	小計 ②	78億514万円	75億6,150万円
合計(①+②)	198億9,124万円	192億8,211万円	
水道事業	収益的収支	12億3,467万円	11億9,691万円
	資本的収支	1億1,530万円	2億9,652万円
	合計	13億4,997万円	14億9,343万円

平成22年度  
一般会計  
決算

# 不況下で町税が減収、限ら

## 学校耐震化事業に7億6,000万円、



オープンした  
「樅ノ木は残った展望デッキ」

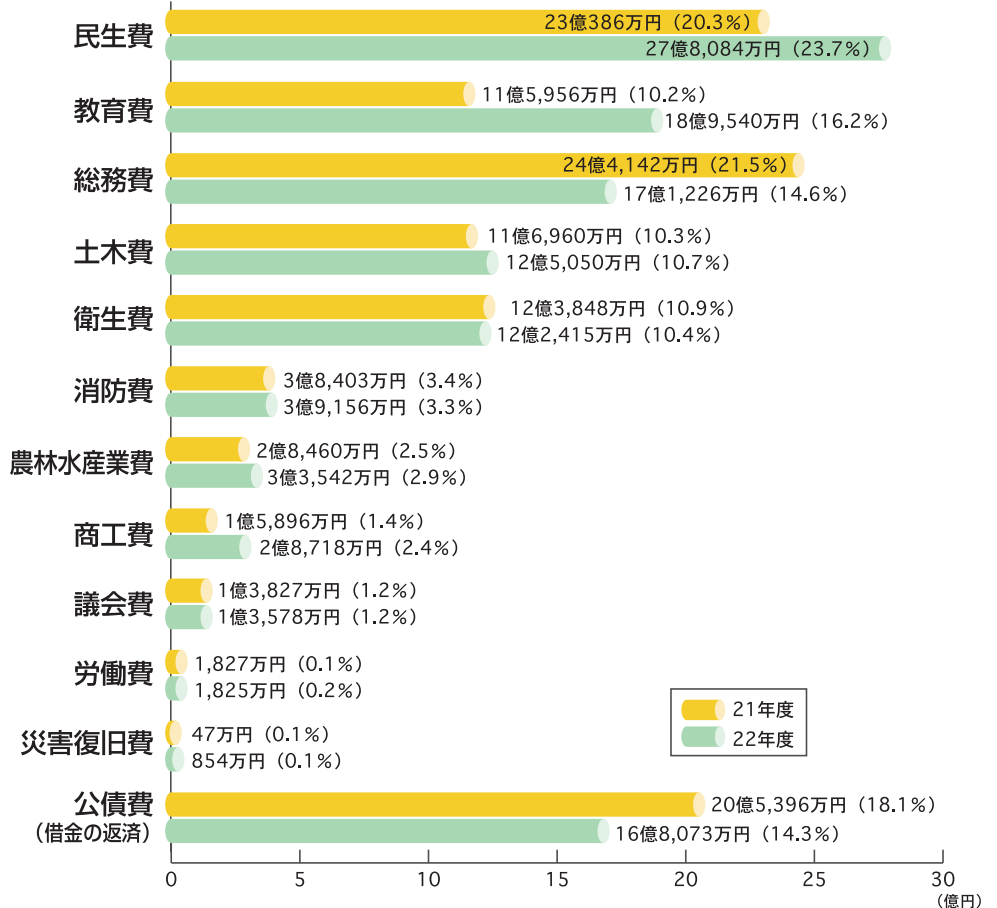


素敵な空間へようこそ  
「オープンガーデン」



笑顔でヨイショ  
「元気はつらつお達者 day」

歳出 総額 117億2,061万円



### 待たれていた 事業へ着手

平成22年度一般会計の歳出は、小中学校の耐震化事業、道路改良事業や観光施策への投資など、待たれていた事業や懸案事項へ取り組みました。積極的な公共投資を行いなながらも、公債費（借金の返済）は16億8千万円と前年度より1・22%減らし、借金残高も減って、118億円となっています。財政の体質改善が着実に進展していますが、財政の健全化に向けて、今後も規律をしっかりと守っての財政運営が求められています。

### 討 論

認定第1号 平成22年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について

#### 反対討論

広沢 真議員

今後数年間にわたって定年を迎える職員が多くなってくる。東日本震災の教訓やベテランの経験を伝えるためにも職員政策を考えるべきであり、警鐘を唱えるためにも、平成22年度一般会計決算の認定に反対する。

#### 賛成討論

高橋たい子議員

平成22年度は小中学校の耐震化事業を初め、待たれていた事業への取り組みが見てとれる。積極的な投資を行いなながらも公債費を縮減したこと、財政調整基金も7億7千万円を確保するなど健全な財政運営が図られたと判断し、賛成する。

# 税金の使い道を 審査しました

決算審査  
特別委員会

## 歳入

住宅使用料については5年を基準にしている。

### 町債等管理基金を どう考えるか

**質疑** 町債等管理基金はどのように運用されているのか、必要なのか。

**答弁** 町債等管理基金は事業を起こすときの借金返済のために積み立てておくもの。借金をコントロールしながらの財政運営に欠かせない。

### 公共料金の 欠損処理は

**質疑** 一般会計の決算の中に公共料金の不納欠損処理が出ているが、欠損処理する基準は。

**答弁** 滞納者に納めても与えるよう面談をしつつ、水道使用料については2年、町税・下水道・駐車場・

### 学校給食費の 滞納の欠損は

**質疑** 学校給食費を45万円欠損処理しているが、その基準は。

**答弁** 滞納者には必ず面談をしているが、5年支払いがいない場合欠損処理にしている。

## 歳出

### 危険ブロック事業の 成果は

**質疑** スクールゾーン内の危険ブロックの除去・改修の進みぐあいは。

**答弁** 各小学校単位、半径500m以内で14カ所残っている。補助制度のことでも説明し、スクールゾーンだけではなく対象範囲



待望の信号機設置へ(大沼通線)

### 信号機設置は

**質疑** 要望がある大沼通りの信号機設置はどうなるのか。

**答弁** 23年度、県が設置することに確定した。

### 体育指導委員の 活動は

**質疑** 体育指導委員の活動状況は。

**答弁** 社会教育の事業計画説明、宮城ヘルシー大

会の柴田町予選会等の打ち合わせ、スポーツプラン21の見直しなど総合計画の兼ね合いから協議している。

### 羽山荘廃止に伴う措置は どうなるのか

**質疑** 羽山荘利用者の送迎は続けるのか。

**答弁** 措置は3年間で終了したが、利用者からの要望があり1年継続した。話し合いをしながら自立した活動に移行できるように進めていく。



おなかの底から今日も吟じる(詩吟高齢者サークル)

## 総括質疑

### 問 国保税の滞納額増加の対策は



佐久間光洋 議員

- (1) 滞納額増加が指摘される国民健康保険事業、町はどのように対処するのか。
- (2) 職員の時間外勤務手当が増加している。工事量の増加で過度の負担がかからないようにと指摘されているが、大震災での対応によるものなのか。
- (3) 落札率で30%台がある。予定価格の積算が甘かったのか、品質確保は大丈夫なのか。
- (4) 少子高齢化で社会保障費の増加は必至である。観光収入などの増加を図る積極的なアプローチが必要と考えるが町の方針は。

### 答 滞納解消措置を強化する

- (1) 累積する滞納額が足かせとなり、収納率が上がらない。さらなる滞納解消措置を強化していく。
- (2) 東日本大震災の対応が必要だ。これからも職員の過度な負担にならないよう配慮する。
- (3) 宮城県の業務委託料単価表を使用してお
- (4) 観光客の声に耳を傾けるマーケティング力と、タウンセールスの推進を図っていく。

### 救急安心カードの配布率アップを

**質疑** 救急安心カードの配布対象者に対して32%の配布率だが、残りの方の対応は。

**答弁** 今回はひとり暮らしの世帯を対象としたが、ひとり暮らしでない方の必要性も検討したい。

### 震災時の保育所等での安否確認は

**質疑** 震災時の保育所等の安否確認は、本庁から出向いて行うべきではないか。

**答弁** 所長、館長が責任を持って対応している。

### 生ゴミ処理器の普及を

**質疑** 生ゴミ減量にも貢献できることから、もっと増やす計画はないか。

**答弁** 資源化を図る観点から、PRして増やす努力をしていく。



電気式の生ゴミ処理器



住宅冠水防止も兼ねる排水機場

### 排水機場の稼働は可能か

**質疑** 我が町の排水機場はあくまで湛水防除のための農業施設というのが前提だが、住宅の冠水も防止する効果があるという期待もある。季節外れの大雨の場合でも、稼働は可能か。

**答弁** そのような状況になれば稼働する。

### スクールカウンセラーの活用状況は

**質疑** スクールカウンセラーへの相談件数が増えているが、内容と受けた後の対応はどうなっているか。

**答弁** 不登校関係で90件、人間、友人関係の相談116件、学校生活317件、生徒対応238件、情報の交換660件。スクールカウンセラーは臨床心理士で心の問題を改善するのが主な仕事であり、相談により児童・生徒の問題は解決していると考えている。

### 槻木にもチャイムを

**質疑** 社会を明るくする運動の中で、健全育成のためにチャイムが必要ではないか。

**答弁** 消防署と実施可能なことについて相談していく。

### 基本健康診査内容の見直しは

**質疑** 基本健康診査の中に、貧血、心電図、眼底検査も含める検討はどうなったのか。

**答弁** 貧血検査のみ、医師の詳細健診の対象となった。

### 大震災で繰越した土木事業などの進捗は

**問** (1) 大震災で22年度土木事業などが事故繰越しされたが、進捗状況はどうか。資材等の入手に支障はないのか。  
(2) 歳入は町税全体で3.2%の減収となったが、町税減収に対し、今後の見通しをどう見ているか。  
(3) 船岡中学校体育館を避難施設としてなぜ使用できなかったのか。学校側の受け入れ体制や避難所運営など準備が必要ではないか。  
(4) 西住放課後児童クラブの実態はどうか。放課後児童クラブの時間延長や施設の改築など、見直しは必要ないか。

### 現在施工中で、12月で完了の予定

**答** (1) 道路改修工事などは9月中、水害復旧工事は12月完了の予定である。資材入手の影響は最小限にとどまった。  
(2) 経済情勢や少子高齢化で給与所得者は減少する。増収は見込めないと判断している。  
(3) 震災で玄関ドアやエントランスに被害があり、入り廊下も工事中だった。学校との打ち合わせや地域懇談会、自主防災組織の中で検討していく。  
(4) 利用は通常8人、学校休業10人である。開所時間の延長を行っているが、自由来館型への転換や設置場所などの見直しをする。

### 総括質疑



佐々木裕子 議員

**子宮頸がんワクチン  
接種のPRは**

**質疑** 20代の子宮頸がんワクチン接種率が13・2%とかなり低い。町としてどのようなPRをしているのか。

**答弁** 年代別でなく一律にPRをしたが、特に若い女性は身近に感じていないというところもあったと思う。予防注射は中高生から始まっているので、徐々に拡大していくと思う。

**児童センターの  
調査研究は**

**質疑** 児童センター整備調査事業の調査研究の内容は。

**答弁** 巨理町の中央児童センターの視察、児童センターの整備に関する講演会を実施した。施設面の整備、機能面を検討している。

**地域公共交通  
活性化事業の結果は**

**質疑** 地域公共交通についてのアンケート結果は

どうだったのか。

**答弁** 昨年10月に町民2千人を対象に実施し、回答率は50%。町の交通網に対し約半数以上の方が不安を抱えていることがわかった。

**農業経営規模拡大  
推進の成果は**

**質疑** 意欲ある担い手の育成、農地の利用集積による経営規模拡大推進の成果は。

**答弁** 担い手が少なく、水田を請け負っていた方々の高齢化も進んでおり、逆に農地を返す借りが増えてきている現状にある。認定農業者と意見交換を行い、推進はしているが、なかなか成果が上がらない実情である。

**トルコギキョウの  
評価は**

**質疑** トルコギキョウ導入に関しての市場評価はどうだったのか。

**答弁** 栽培技術もないところから取り組んだ割には、いいものをつくったという評価を得た。

**本会議審議**

平成23年度一般会計補正予算では、公共土木施設の復旧工事に3億4千万円を増額するなど、総額で4億7千万円の増額補正となり、原案どおり可決しました。

**災害復旧工事で  
借金は増えるのか**

**質疑** 災害復旧事業債（借金）が増額計上されているが、今回の災害復旧事業でまだ借金が増える見込みなのか。

**答弁** 今回9千700万円増額しているが、だいたいこの範囲で収まると考えている。

**質疑** 今回の借金は土木施設（道路、公園など）復旧工事に関するものなのか。



1日も早い復旧を

**平成23年度 各種会計補正予算**

会計区分	補正額	補正後の額	
一般会計	4億7,489万円	136億8,086万円	
特別会計	国民健康保険事業	1億8,161万円	38億7,527万円
	公共下水道事業	2,391万円	26億7,313万円
	介護保険	2,375万円	21億9,255万円
	後期高齢者医療	519万円	3億735万円
	水道事業会計	△782万円	12億2,602万円
	資本金的支出	122万円	3億5,248万円

**原発事故被害に  
対する救済策は**

**質疑** 原発事故による畜

**答弁** 主に道路、公園関連だが、学校の施設復旧工事も含まれている。

**質疑** 災害復旧工事の財源はどうなっているのか。

**答弁** 道路復旧工事費総額6億1千万円のうち国からの補助金が約4億円であり、残りを借金で賄うが、そのうちの一部が今回の9千700万円である。

**答弁** 産物被害対策費が計上されているが、どのようなことをするのか。

**答弁** 牛肉の出荷停止になった町内の畜産農家2軒分、JAの運転資金貸付制度の利用に対し、町が0.5%の利子補給を行う。

**人事案件**

○教育委員会委員の  
任命に同意（新任）

内嶋 昌 博氏

（榎木白幡）

**第4回臨時議会**  
8月2日開催

**震災被災者の  
介護保険料を減免**

東日本大震災で被災した方、原発事故で避難してきた方のうち65歳以上の方に對し、介護保険料を被害の程度に応じて全額免除、あるいは2分の1減額する条例を可決。

**一般会計補正予算  
倒壊家屋解体撤去の  
予算、震災住宅改修  
事業補助金など**

地震で倒壊した家屋の



順調に進む大規模改造(槻木小学校)

撤去を公費で負担するため  
の予算1億4千万円と、  
道路補修などの公共土木  
工事2億円を新たに追加  
また、震災住宅改修事業  
補助で6千万円を増額す  
るなど、震災関連の補正  
予算を可決。

**槻木小学校大規模改造  
工事1億2千万円の  
請負契約を可決**

築36年経過した槻木小  
学校校舎の長寿命化を図  
るため、内外壁の補修と  
塗装改修、床の改修を行  
う1億2千万円の工事請  
負契約を可決。

**本会議出欠状況・議案等審議結果**

**●本会議出欠状況**

※「○」は出席、「欠」は欠席、「早」は早退、「遅」は遅参を表す。  
※決算審査特別委員会中、「監」は説明員(議会選出監査委員)として出席していることを表す。  
※議長は決算審査特別委員にはならない。

区分	主な内容	月日	出席者数(人)	出 欠 状 況																
				平岡泰結美	佐々木裕子	佐久間光洋	高橋たい子	安部 俊三	佐々木 守	広 沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	森 淑子	大坂 三男	丹山 彰	星 吉郎	加藤 克明	大沼 博義	白内恵美子	我妻 弘国
第4回臨時会	本会議	条例・契約・補正予算	8.2	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第3回定例会	本会議	町政報告・一般質問	9.5	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問	9.6	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般質問・人事案件	9.7	16	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		条例・補正予算	9.8	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	決算審査特別委員会	平成22年度決算上程・総括質疑	9.9	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		正副委員長の互選	9.9	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		一般会計審査	9.12	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
本会議	一般会計審査	9.13	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	一般会計・特別会計等審査・採決	9.14	15	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
本会議	決算採決・条例・契約・請願	9.15	17	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

**●議案等審議結果**

※「○」は賛成、「否」は賛成しないことを表す。  
※「議」は表決時に議長のため、また「-」は表決時に議場にいないため表決に参加していないことを表す。

区分	件 名	議決月日	表決者数(人)	賛 成(人)	議決結果	表 決 状 況															
						平岡泰結美	佐々木裕子	佐久間光洋	高橋たい子	安部 俊三	佐々木 守	広 沢 真	有賀 光子	水戸 義裕	森 淑子	大坂 三男	丹山 彰	星 吉郎	加藤 克明	大沼 博義	白内恵美子
第4回臨時会	平成23年東日本大震災による災害被害者に対する介護保険料の減免に関する条例	8.2	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成22年度槻木小学校大規模改造工事(繰越明許) 請負契約について	8.2	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成23年度柴田町一般会計補正予算	8.2	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
第3回定例会	教育委員会委員の任命について	9.7	14	14	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	議	
	柴田町住民自治によるまちづくり基本条例の一部を改正する条例	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	柴田町町税条例等の一部を改正する条例	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成23年度柴田町一般会計補正予算	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成23年度柴田町国民健康保険事業特別会計補正予算	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成23年度柴田町公共下水道事業特別会計補正予算	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成23年度柴田町介護保険特別会計補正予算	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成23年度柴田町後期高齢者医療特別会計補正予算	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成23年度柴田町水道事業会計補正予算	9.8	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成22年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について	9.15	16	15	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成22年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9.15	16	16	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成22年度柴田町老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	9.15	16	16	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成22年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	9.15	16	16	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成22年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	9.15	16	16	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成22年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	9.15	16	16	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
	平成22年度柴田町水道事業会計決算の認定について	9.15	16	16	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	
平成22年度槻木小学校大規模改造工事(繰越明許) 請負変更契約について	9.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		
平成23年度柴田町一般会計補正予算	9.15	16	16	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議		

# 一般質問

あなたにわかって聞きました!!



舟山 彰 議員

**Q** 今大きな余震や大雨があったらどうするのか

**A** 指定避難所の状況は説明している



復旧が進む指定避難所

8月19日金曜日午後2時36分頃、最大震度5弱の余震があった。強い地震であり、3月11日と同じ金曜日、時間も同じ頃で、あの時の記憶が蘇った人もいたであろう。気象庁はマグニチュード7クラスの大きな余震は、これから半年から1年は注意が必要と言っている。

**問** もし今、大きな余震が来たら、町民はどこに避難すればいいのか。指定避難所等の復旧状況は町民に周知しているのか。  
**答** 区長には既に周知しており、防災地区懇談会でも状況を説明している。  
**問** 指定避難所は学校の体育館が多く、順次整備していくとあったが、その復旧は進んでいるのか。  
**答** 7月に国の査定を受け既に工事に着手しており、工期は船岡小学校が10月25日、船迫小学校が11月30日、槻木小学校が12月22日である。

**問** 最近の傾向として一部地域へのゲリラ豪雨も多いことから、槻木地区のような常に冠水被害のある地区の雨水対策は特に急ぐべきではないか。  
**答** 冠水要因等の調査のため、基本調査委託を発注し現在作業中。  
 この中で、対策工法の検討を行った上、全体計画や事業費を策定する計画でいるので、ご理解をお願いする。

**問** 住民基本台帳カードは、住んでいる市町村で簡単に交付が受けられるセキユリティーに優れたICカードとして、利便性の向上、行政事務の効率化に役立つものとしている。また、平成21年4月20日から、新しい住民基本台帳カードが発行され、今まで以上に本人確認機能が強化された。  
**問** 現在までの住民基本台帳カードの交付率は。  
**答** 交付枚数は平成15年度59枚。平成22年度136枚

**Q** 住民基本台帳カードの今後の活用は



平間奈緒美 議員

**A** 多目的利用が可能か検討する

で、交付累計は935枚である。交付率2・44%。ちなみに平成21年度の全国交付率は3・49%。宮城県では2・46%である。  
**問** 運転免許証を自主返納された高齢者の方へ、住民基本台帳カードの無料交付の検討は。  
**答** 住民基本台帳カードを無料交付している自治体はある。現在宮城県警では、運転免許証を自主返納した方へ申請により運転経歴証明書を交付している。手数料はかかる



受付は町民環境課窓口へ

が、柴田郡内では交通安全協会が、会員を対象に千円を助成しているので活用してほしい。  
**問** 平成23年4月1日現在、182の自治体が、住民基本台帳カードを多目的に活用している。導入を検討しては。  
**答** 導入には多額の初期投資を初め、維持管理経費などが必要であることから、多目的利用が可能かどうか検討をしていく。





大坂三男 議員

**Q** デマンド型  
公共交通の  
進捗状況は

**A** 計画策定、許認可申請を経て  
平成24年度にスタートする



総務常任委員会によるデマンドタクシーの先進地視察

町長は平成23年度の施政方針の中で高齢者も利用しやすい柴田町に合った地域公共交通の運行を指すと述べている。そのため地域公共交通活性化協議会を設置して導入の検討を進めるとしているが進捗状況を伺う。

**問** 担当部門の検討状況や関係者との話し合いは進んでいるのか。協議会の立ち上げはいつか。

**答** 現在、先進市町の実態等を参考に、導入スケジュール及び運行体制等についての素案づくり、町内タクシー事業者等の各関係機関との調整など、諸準備を進めている。協議会については、道路運送法に基づく地域公共交通会議とし10月をめぐりとして設置する予定。

**問** 協議会の構成は、メンバーは専門的知識を有する交通事業者、運輸局、県、警察、利用者、学識経験者、商工会、行政区長等の代表25人程度を考えている。

**問** どのような方式の公共交通サービスを考えているのか。

**答** デマンド型乗り合いタクシー方式の採用を考えている。これは、交通手段に不便をきたしている方を自宅や指定場所から目的地まで乗り合いタクシー方式で送迎するサービスである。乗りたいたときに電話やフックで事前に予約すれば誰でも利用することができ、方式を基本としたい。

**問** ペットのふん、ごみの不法投棄、落書き、宅地の荒廃、放置自転車、暴走行為などは、町民にとっても観光客にも良くないし、また、防犯の面からも教育的観点からも問題である。

個人や地域の力では解決できないものは、条例に基づいた権限での処理が必要ではないか。

**答** 柴田町は平成14年に環境基本条例と環境基本計画を定め、積極的に環境の保全と創造活動を展

開してきた。環境指導員の巡回や不法投棄の早期発見、町民、企業等が丸となったの清掃活動、青少年のための柴田町民会議等による落書き消し等を行うなど、他の自治体に負けない実践活動を積み重ねている。

今後の対応は、たばこや空き缶のポイ捨て禁止条例に見られるように、権限の強化と罰則規定を伴った条例を制定する時期に来ているとも考える。第2次柴田町環境基本計

**Q** 環境問題は、条例を  
拡充し、権限での処理が  
必要ではないか



佐久間光洋 議員

**A** 平成23年度の環境基本計画  
策定の中で検討する



「青少年のための柴田町民会議」の皆さんによる落書き消し

画の策定の中で、策定委員のふるさと町民会議の意見を踏まえながら検討する。

**問** 花のまち柴田の観光推進や町民の普段の暮らしのためにも早急にやる必要があるではないか。

**答** 現在、環境基本計画第2次計画を策定中であり、平成24年3月、計画完了予定で進めている。



佐々木守 議員

**Q** 幼児型児童館廃止後の対応は

**A** 議会、保護者、地域住民の意見を集約し、原案をまとめる



フレー、フレー、ボクもわたしもガンバリマン!!(柴田児童館)

**問** 平成25年度末に幼児型児童館が廃止となる。それ以降の対応をどのようにするのか。

**答** 西住児童館、三名生児童館、柴田児童館の3館が廃止予定で、その後は二つの案を軸に取り組んでいく。第一案は、対象児童には町内幼稚園に入園してもらい、廃止後の施設は本来の自由来館型児童館として運営し、地域での身近な集える場所として子育て、家庭の支援をしていく。第二案

は、政府が検討している子ども・子育て新システムに基づく幼保一体化施設、(仮称)こども園(総合施設)の創設と、槻木地区の幼児教育施設の確保策として、廃止後の柴田児童館を民間に貸与し、民間によるこども園(仮称)として幼稚園に移行していくというもの。この二つの案を軸に、議会、保護者、地域住民の皆さんの意見を集約し、原案をまとめる。

**問** 子ども・子育て新システムに関する政府方針が平成25年度までに出ないときはどうするのか。

**答** 当面は現行制度である認定こども園を視野に入れた検討を行っていく。

**問** 私立幼稚園に幼児型児童館を委託する検討はどうなったのか。

**答** 私立幼稚園側としては、町の施設の運営を委託する状況にはないとのこと、現在検討を保留している。



白内恵美子 議員

**Q** 放射線測定器を購入し農産物や給食食材の測定を

**A** 町独自で購入して測る必要はないと考える



福島県で配布されている子ども向けパンフレット

子どもたちを放射能汚染から守るため、次の質問と提案を行う。

**問** 学校や保育所への線量測定器の配布は。

**答** 6月に各学校に1台ずつ配布、7月に児童館設用に1台納入した。

**問** 通学路や子どもが立ち寄る場所の測定を。

**答** 各学校では校庭や遊具周辺、プールサイド、教室を定期的に測定し保護者に知らせている。側溝や雨樋など線量の高い場所には近付かないよう

指導している。通学路は柴田・船迫小学校で測定したが、線量の高い場所はないとの報告だった。

**問** 町内の詳細な線量分布マップの作成を。

**答** 現在37カ所で空間線量を測定しており、地図上で公表していく。

**問** 福島県では子どもが日常生活で受ける放射線量を減らすためのパンフレットを配布している。町でも配布すべきでは。

**答** 宮城県に配布するよう要望したい。

**問** 町独自で測定器を購入し、町内農産物や給食の食材の測定と公表を。

**答** 県が11月に高精度検査器2台と簡易検査器12台を購入する。町は購入せず県と連携していく。給食の食材は納入時に生産地の確認をしている。

**問** 若い世代は、食べ物に不安があるのでは。

**答** 柴田町の野菜は安全だと判断し、町独自で測定器を購入して測る必要はないと考える。

# 一 般 質 問

子どもや家庭を取り巻く環境は雇用問題や近所づきあいの希薄化などにより厳しいものになっていく。悲惨な事件が続くことを受けて、国からは子育て支援の諸施策が次々と出され、市町村は具体化を迫られているが追いつけない状況にある。

**問** 子どもを保育所に預けている保護者が、次の子を出産して育児休業に入ると上の子は退所しなければならぬ。いったん退所すると仕事に復帰するときにまた入所できる保障はなく、育児休業中は不安の中で生活することになる。雇用の安定を確保するため、継続入所を認める自治体も多いが、本町も認めてはどうか。

**答** 年長児の場合はこれまでも継続入所を許可してきた。今後、中途退所しないで継続保育ができるよう、来年度に向けて検討していきたい。

**問** 児童虐待に対応するために設置されている要

**答** 設置要綱を2月10日に告示し、3月23日に代表者会議、実務者会議を開催する予定だったが、大震災のため中止になった。

**問** 担当職員は専門職か家庭相談員を置いている市町もあるが我が町の予定は。

**答** 担当は行政職員が兼務で2名いる。電話での連絡など件数も増えているので、専門職員の任用は今後検討したい。

## Q 育児休業中も 保育所で 継続保育を



森 淑子 議員

## A 来年度に向けて 検討する



保育ニーズの充足を(西船迫保育所)



安部俊三 議員

## Q ジェネリック医薬品の 普及促進を

## A 医療機関等と情報交換を 進め普及促進に取り組む



ジェネリック医薬品も選択肢の一つ

医療費負担を軽減するため、新薬の特許が切れた後に製造発売されるジェネリック医薬品(後発医薬品)の普及促進が図られている。

**問** 町として、ジェネリック医薬品の普及促進についてどのような考えでいるのか。

**答** 患者負担の軽減、医療保険財政の安定のため、普及促進の取り組みは必要だと認識している。

**問** 町内におけるジェネリック医薬品の使用実態

を把握しているか。また、みやぎ県南中核病院の使用実態は。

**答** 町内におけるジェネリック医薬品の使用実態についてのデータはない。みやぎ県南中核病院では本年8月現在、すべての医薬品に占めるジェネリック医薬品の採用割合は6.8%となっている。

**問** 町では、医師や薬剤師などにジェネリック医薬品の普及促進について申し入れするなどしたことがあるか。

**答** 県では、医師会や薬剤師会に普及促進の働きかけを行っている。町としても柴田町医師団や柴田歯会、薬剤師の方々に相談していく。

**問** 今後、ジェネリック医薬品の普及促進に関してPRする考えはあるか。

**答** 薬は直接生命にかかわることなので、専門家である医療機関等との情報交換を進めながら取り組んでいく。



佐々木裕子 議員

**Q** 震災などによる町道側溝等の整備取り組みは

**A** 国庫補助の活用や町単独の改修事業で取り組む



安全な歩道の確保は急務

大震災関連で、国・県の高い災害査定結果により町の負担が軽減された。国の査定内容は、申請件数66カ所のうち、8月24日の第14次査定までで48カ所、査定額は3億7千580万円である。

**問** 残り分の査定は、18カ所を3回に分けて受ける。

**答** 査定回数は何回か。1次から18次で18回。最終査定の9月24日まで申請は間に合うのか。

**答** 支障ないよう残り18

カ所、18次で完了したい。

**問** 槻木交番付近の側溝で自転車の転倒や車の脱輪、8区でも通学中に自転車の転倒が起きているが、把握しているか。

**答** 現場・現況を確認したい。

**問** 通学・生活路の危険箇所整備への考えは。

**答** 優先順位の高いところから、一般町道改修事業で取り組んでいく。

**問** 上名生3号線の線路沿いの整備の考えは。

**答** 車道7分の舗装改良

と東北電子エンジニアリング工場側に2本の歩道も整備する。

**問** 柴田郵便局付近の歩道整備で大河原土木への連絡は。

**答** 連絡して一部整備されたが、通勤・通学路で駅前でもあることから、今後要望していく。

**問** 船岡城址公園北側交差点付近の歩道が途切れているが、現場確認は。

**答** 歩道自体を広げられず、現在検討中。

公園は単なる遊び場や休憩所だけでなく、交流の場、生活に安らぎや潤いを与え、震災時は避難場所としても活用される所であると認識している。

**問** 遊具による事故もあるが、遊具の日常的な点検の頻度と形態は。

**答** 年1回、劣化状況確認のため専門技術者による定期点検、パトロール時の職員による目視や触手診断の日常点検を実施。また、区長、愛護協力会

や利用者からの声を受けて遊具を管理している。

**問** 壊れている遊具の数は。新設や撤去後などの予算措置の考えは。

**答** 使えない遊具は、ブランコ23基、滑り台4基、その他を含め合計32基。修理費用は、ブランコ1基10万円位、滑り台は50万円位かかる。当初予算の修繕費と補正予算とで、今回はブランコを中心に23基すべて修理する。滑り台も直せば合わせて実施をしたい。今後は財

政状況を見極め計画的に取り組む。

**問** 疾病予防と健康増進のための健康遊具の設置は。

**答** 船岡中央公園に2基新設した。

**問** オープンガーデンは、公園を使った方法も考えられるのではないか。

**答** 発表の場というような拡大的交流が広がれば、使えるのかとは思いますが、今のところは考えていない。

**Q** 壊れている遊具の予算措置は



水戸義裕 議員

**A** 財政状況を見極め、計画的に取り組む



改修を待つすべり台



高橋たい子 議員

**Q** 耕作放棄地は  
里山景観を  
損ねているのでは

**A** 市民農園や除草機の  
貸出制度を実施し対応していく



目立つ遊休地

**問** 農村空間の保全と里山景観の再生に問う。  
**答** 耕作放棄の畑や作付をしていないところの荒廃が著しく、農村里山の景観を損ねている。こうした遊休地の管理、再生事業の具体的な取り組みは。

**問** 畑については市民農園として、遊休地対策としては除草機2台を購入し、集落や農家に貸し出す制度を設ける。  
**答** 里山ハイキングコースが設定されたが、地元

に住んでいる人たちの認識の上に立たないと交流につながるのではないのか。  
**答** まずは地域の方々に歩いてもらうイベントを考えたい。農村集落づくりプロジェクトの中で推進していきたい。  
**問** 里山ハイキングコースのガイドの養成についてどのように考えているのか。  
**答** 農政課と生涯学習課が中心になりガイドを育成し、有償ボランティアの会を組織していきたい。

**Q** 地域に密着した公園に  
遊具の整備を



星 吉郎 議員

**A** どのような遊具がいいのか  
考えて設置する

**問** 船岡南土地区画整理事業によってつくられた三つの公園が、年次計画で整備が予定されている。榎木生月区画整理事業が完成して10年。この事業でつくった街区公園は草だらけで、なぜ公園整備がされていないのか。周辺には家屋も建ち並び、子どもたちも多くなってきた。今後の整備計画について問う。  
**答** 船岡南土地区画整理事業で生み出された船岡新栄地区の4号、5号、

6号の三つの公園整備は、今年度新規採択を受け、社会資本総合整備計画の個別事業として実施していく。  
公園を整備する際には、ワークシヨップなどで整備内容や管理のあり方など多くの方々の考えを計画に反映していく。  
榎木生月地区の公園整備は、社会資本総合整備計画の具体的な事業に入っていないが、社会資本総合整備計画と同様の考え方で、来年度できる



待たれる公園整備(榎木生月地区)

ところから、どのような遊具がいいのかを考えて設置の方向で進める。

# 一般質問



広沢 真 議員

## Q 正しい情報で放射能の不安軽減を

## A 不安解消のため努力する



安全・安心のための放射線量調査

**問** 東日本大震災から6カ月、いまだに終息の方向が見えない放射能問題。子育て中の保護者を中心に本当に安全なのか不安が広がっている。

**答** 柴田町での放射性物質の蓄積量についての認識は、8月30日に文部科学省から発表されたデータによると柴田町は1平方メートルあたり1万ベクレルから3万ベクレルの範囲と発表されている。学校教育施設の土壌調査でも表土除去基準の1マイシーベ

ルトを下回っており、蓄積量は多くないと考えられる。蓄積量の高い場所はあると考えるか。

**答** 町の空間放射線調査と国の分析結果から極端に高い場所はない。

**問** 最新の学説では雨などの気象現象で放射性物質の移動と濃縮が起こることが指摘されている。町内にホットスポットがある可能性は。

**答** ホットスポットの形成には諸説あり、学会でも議論が分かれている。現時点で高い数値が出て

も、たまたまと言えない。

**問** 町全体で国際的な基準の年間1ミリシーベルトを目指すべきでは。

**答** 学校教育施設にとどまらず、町全体での年間1ミリシーベルトを目指したい。

**問** 町で健康調査を行うべきではないか。

**答** 町民の不安軽減のため、福島県と同様に国の責任での健康調査の実現を働きかけている。

## 掲載した質問のほかに、次の項目がありました。

### 舟山 彰 議員

**問** 宮城県では、東日本大震災の影響で今年度の税収が減少する。柴田町はどうか。

**答** 各種税の減免等はあるが、収入見込みについては大きな影響は生じていない。

**問** 住民の意思表示の有力手段である住民投票条例制定の検討に入ってもいい時期では。

**答** 住民自治によるまちづくり基本条例の浸透度を深めた上での制定が望ましい。

### 平間奈緒美 議員

**問** いざというときのために、日本各地に災害協定を含む友好都市を。

**答** 北上市、伊達市等の交流に重点を置き、今回の教訓をもとに災害時相互応援協定を精査していく。

### 大坂三男 議員

**問** 町の貯金（基金）で復旧財源が手当てできて安堵。万が一に備えて基金の積み増しが必要では。

**答** 今後、国の特別交付金や災害復旧債などで現金確保が可能。基金への積み増しをしたい。

### 佐々木守 議員

**問** 平成23年度に計画されている事業は予定どおり進むのか。

**答** 平成23年度中の完結は難しいと判断しており、明許繰越等も含め事業展開を考えていく。

**問** 町民の放射能への関心度は、ますます高まっているが、対応が変わった点は。

**答** 船迫、成田、葉坂、四日市場山根地区の4カ所を測定地区に加え測定の充実を図っている。

### 白内恵美子 議員

**問** 働く親の強い味方である「病児・病後児保育」の一日も早い導入を。

**答** 国の「子ども・子育て新システム」の動向に注意しながら導入に向け検討を続ける。

### 佐々木裕子 議員

**問** 現在公用車として使用の少ない議会車を廃止し、災害専用車にかえることを検討しては。

**答** 議長や議員の送迎や町来訪者、賓客の送迎等運用上困る場合もあり、廃止は考えていない。

### 水戸義裕 議員

**問** 本町農作物の放射線測定は、町独自で測定機器を購入して、放射線を計測する考えは。

**答** 専門的な検査体制が整っている国や県の情報を注視しながら、情報の収集と提供に努める。

### 星 吉郎 議員

**問** 槻木中学校前の県道のマンホールの段差をどのように把握しているのか。

**答** 緊急修繕工事として槻木中学校前のマンホール周辺3カ所の舗装修繕を実施した。

**問** 本町でも自然エネルギーを活用した再生可能エネルギーの活用を考えるべきではないか。

**答** 本年度建設工事が始まる槻木中学校校舎に太陽光発電を設置して活用を図る。

# 常任委員会レポート

各常任委員会は  
年4回各課の仕事  
を調査しています。

## 総務

■ 調査日 平成23年7月4日・5日  
■ 調査内容

- ・ 事務事業の内容及び執行状況
- ・ 前年度指摘事項に対する措置状況

### 花咲山基本構想の整備計画や進捗状況は丁寧の説明を

《まちづくり政策課》

柴田町では、「花のまち柴田」のブランド化を図っており、その事業の一つとして、船岡城址公園において四季を通じて花々が咲き誇る「花咲山」を整備している。

昨年度、議会として「柴田町花咲山基本構想」の説明を受けているが、「花咲山」については、議員のみならず住民も関心を寄せており、まちづくり政策課を中心として、関係課が実施する船岡城址公園の整備計画や進捗状況などは機会あるごとに丁寧に説明すること。

## 文教厚生

■ 調査日 平成23年7月6日・7日  
■ 調査内容

- ・ 事務事業の内容及び執行状況
- ・ 前年度指摘事項に対する措置状況
- ・ 第二常盤園（視察）

### 放射線量測定の充実を

《子ども家庭課・教育総務課》

福島原発事故による放射能汚染については、問題の長期化が懸念される。子どもを持つ父母に対する目に見えない不安を取り除くため、引き続き各学校・保育施設での定期的な放射線量測定を実施し、速やかに公開すること。

また、購入した放射線量測定器により、今後は施設ごとに複数箇所を測定し、情報の信頼性確保にも努めること。

《生涯学習課》

災害発生時には、施設利用者等の安全を確保するため、定めている職員災害初動マニュアルに基づき適切な対応や活動を行うこと。各々の施設にあつては災害の規模や形態、利用者の状態等により対応や活動内容が異なるため、当該施設の状況に応じた職員の行動手順を明確に定めておくこと。

## 産業建設

■ 調査日 平成23年7月19日・20日  
■ 調査内容

- ・ 事務事業の内容及び執行状況
- ・ 前年度指摘事項に対する措置状況
- ・ 町内における、ため池の管理状況

### ため池を農村環境資源として有効活用を

《農政課》

町内に56カ所ある農業用ため池については、堤体の耐久性と適正な水量確保に努めること。また、農業用水として使われなくなった箇所も含め、ため池を槻木地域全体の農業環境資源としてとらえ、有効活用を考えること。

《都市建設課》

東日本大震災における、国の災害復旧査定にあつては、申請漏れのないよう進めること。

# あなたの一言



わたなべ せいじ  
渡辺 誠司 さん  
(船岡中央3丁目在住)

未来へ向けて

## ●柴田町に住んで感じたことは

出身は大府豊中市です。柴田町に住んで19年目となり、大阪よりも長く住んでいます。柴田町は、地域の絆が強く一体感が感じられ、移住者にも優しく、人情味溢れる町であると感じています。また、鉄道・空港・高速道路などへの交通アクセスが良く、利便性も高いと感じています。

## ●柴田町で好きなところは

自然が豊かで、景色が良く、あたかみのある町並みがとても好きです。また、東北というと雪が深く寒いところというイメージがありましたが、柴田町の気候は温暖で、雪もほとんど降らず、四季を通して過ごしやすいところも好きです。

## ●町に何を望みますか

現在、仙台大学に職員として勤務

しています。体育大学に勤務する者として、また、スポーツ都市宣言をしている柴田町に住んでいる者として、やはり、スポーツを通して人が元気になること、子どもたちの健全育成、そして、豊かな人と人とのつながりがある活気溢れる町づくりを今後も目指してほしいです。

## ●議会だよりを読んでいますか

ときどき目を通しています。

## ●議会、議員に望むことは

顔の見えるコンパクトな町のメリットを生かし、快適に、そして安全で安心して住める町づくりを推進してほしいと思っています。いつの日か、住みたい町の全国第一位に柴田町が選ばれたら、とても嬉しいです。

## 『震災復興と日本』

公開議員研修会を開催



10月2日、仙台大学教授で政府の東日本大震災復興構想会議委員の高成田亨氏を講師に迎え、「震災復興と日本」をテーマに公開議員研修会を開催しました。

講演は、復興構想会議で検討されている復興策の議論の詳細や再生可能エネルギーの地産地消など、多岐にわたった内容でした。

質疑応答では、「原子力発電以外のエネルギーは」「地方自治体の復興予算を国が出してほしい」など時事的、実践的な質問が出され、高成田氏は「これから原発の新・増設は考えられない。東北は地熱などの資源が豊富なので活用すべき」「地方自治体は独自の施策をどんどん提案すべきで、独自の債券を発行するのもアイデアの一つでは」など、示唆に富んだ話をされました。参加者には大きな刺激になったのではないでしょう。

## ◆編集◆後◆記◆

東日本大震災から半年が過ぎ、町民の皆様のご意見や疑問が進んでいるのか気になっているところだと思います。

議会としても、議会だよりを通して少しでも町民の皆様のご意見や疑問に答えていけるよう編集に心がけていきます。

今回も議員の一般質問や総括質疑を通して、今年度の事業や災害復旧・復興事業の進捗状況等を把握してくだされば幸いです。

これからも町民の皆様「議会だよりを見れば町の計画や進捗状況がよくわかる」と言っていただけよう編集に努めてまいります。

議会広報常任委員 佐々木 守

ぜひ、議会の傍聴を!!

お待ちしております!

第4回定例会は

12月12日(月) 午前9時30分開会予定

一般質問は

12月12日(月)・13日(火)・14日(水)の予定

※詳しくは町議会事務局(☎55-2136)へお問い合わせ下さい。

町ホームページ 本会議審議等結果を掲載  
各種会議の出欠状況

町ホームページ内、「行政・まちづくり」の中の「町議会 議会だより」「議会のうごき」に、委員会・全員協議会の出欠状況もあわせて掲載しています。

柴田町のホームページ  
<http://www.town.shibata.miyagi.jp>